

機械・機器の軽量化、長寿命化、高信頼化に向けて強度設計、生産技術、品質保証、保全に関わる技術者の方々に聴いていただきたいセミナーです。

技術セミナー

初心者にもよくわかる 演習つき

ねじ締結体の疲労強度向上法 / ゆるみ防止技術

日時
2017年 12月 5日 (火)
10:30 ~ 16:30

会場 産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見 1 - 5 - 1)

税込受講料
1名 45,360円
2名以上1名 42,120円
案内図

講座のポイント
・ねじ締結体の強度・ゆるみの基礎を演習も交え理解・習得
・疲労強度向上法～ゆるみのメカニズムと防止技術の理解・習得
・CAEへの適用事例を紹介

内容



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線 (緩行線)
地下鉄東西線 (A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線 (A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線 (A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先 (TEL・FAX・E-mail) をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

講師 静岡理科大学 特任教授 工学博士 服部 敏雄 氏
(株)日立製作所 機械研究所 主管研究員 (元)岐阜大学 工学部 名誉教授

- ・構造強度上の継手部の重要性
- ・ねじ締結部の力学
 1. 軸方向負荷 (内力係数、荷重分担)
 2. 軸直角方向負荷 (限界すべり量)
- ・ねじ締結体の設計の流れ
 1. 初期締め付けの力学 (ばらつき)
 - a. トルクレンチ法
 - b. 回転角法
 - c. トルク勾配法
 2. 内力係数 (偏心外力含む)
 3. 疲労強度評価
 4. ゆるみ評価
- ・ねじ締結体の疲労強度向上法
 1. ボルトの対策 (伸びボルト、不完全ねじ部)
 2. ナットの対策
 3. 塑性域締め付け法
- ・ゆるみのメカニズムとゆるみ防止技術
 1. 非回転 (へたり) ゆるみ
 2. 回転ゆるみ
- ・ねじ締結体設計の常識とうそ
 1. 座金の善悪
 2. ダブルナットの効果
- ・CAD-CAE一貫設計ツール
- ・演習問題
- ・まとめと質疑応答

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 ねじ締結体の疲労強度向上法とゆるみ防止技術

セミナーコード

1101-171205

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2017/12/5 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
				()
			FAX	-
窓口部署			お支払予定	当日持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				